令和８年

健康福祉委員会

８月７日

豊明市議会

健　康　福　祉　委　員　会　会　議　録

令和８年８月７日

午前10時32分　開会

午前11時16分　閉会

１．出席委員

委員長	清　水　義　昭	副委員長	鵜　飼　貞　雄
委　員	岡　島　ゆみこ	委　員	中　堀　りゅういち
委　員	服　部　龍　一	委　員	林　　ゆきひろ
委　員	堀　内　ち　ほ		
議　長	毛　受　明　宏		

２．欠席委員

なし

３．職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	塚　田　　力	議事課長	水　野　美　樹
議事担当係長	矢　野　佑　輔		

４．説明のため出席した者の職、氏名

市　　長	小　浮　正　典	副　市　長	小　串　真　美
健康福祉部長	塚　本　由　佳	地域福祉課長	若　井　雅　宏
教　育　部　長	浅　井　俊　一	生涯学習課長	山　田　隆　貴

５．傍聴議員

青　木　けんじ	鈴　木　智　和	浅　井　たかお	こんどう　のぶお
いとう　ひろし	武　谷　としお	郷右近　　修	三　浦　桂　司
ふじえ　真理子			

６．傍聴者

なし

午前１０時３２分開会

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　ただいまより健康福祉委員会を開会いたします。

会議に先立ちまして、市長より挨拶をお願いします。

小浮市長。

○市長（小浮正典君）　皆様、お疲れさまでございます。

健康福祉委員会に付託されました案件は、補正予算案１議案でございます。慎重なる審査をいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上、終わります。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　ありがとうございました。

続いて、議長より挨拶をお願いします。

毛受議長。

○議長（毛受明宏議員）　皆さん、お疲れさまです。

健康福祉委員会に付託された議案は１件でございます。慎重審査をよろしくお願いいたします。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　ありがとうございました。

これより会議を開きます。

お諮りいたします。市長は自席待機といたしたいが、御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　御異議なしと認めます。よって、市長は退席を願いますが、答弁を求める機会がある場合には出席をいただきますので、御承知おき願います。

（市長退席をなす）

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　本日の傍聴については、申合せに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴者の入室を許可します。

本日の議事につきましては、本委員会に付託されました案件につきまして、お手元に配付いたしました議題に従い会議を進めます。

なお、当局におかれましては、反問権を行使される場合は意思表示を明確にされ、論点を整理して反問されますようお願いいたします。また、反問を終了するときも意思表示を明確にされるようお願いいたします。

では、議案第54号　令和８年度豊明市一般会計補正予算（第５号）についてを議題といたします。

本案件について、理事者の説明を求めます。

若井地域福祉課長。

○地域福祉課長（若井雅宏君）　議案第54号　令和８年度豊明市一般会計補正予算（第５号）のうち、地域福祉課所管分を御説明します。

歳出予算を説明しますので、補正予算書５ページをお願いいたします。

３款１項１目　社会福祉総務費の右側の欄、２、福祉推進事業の説明欄、消耗品費の146万7,000円の増額は、10月から開催されますアジアパラ競技大会の観戦チケットを購入する費用となります。

アジアを代表するトップアスリートの競技を体感できる機会として、生涯スポーツへの理解を深めることなどを目的としております。

まずは障がい者支援団体やスポーツ推進委員等に希望を募り、チケットを配付させていただいた後、各種障害者手帳をお持ちの方や手帳をお持ちでない方などに無料で配付することを予定しています。

説明は以上です。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　理事者の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

林委員。

○林　ゆきひろ委員　まず、ちょっと確認からしていきます。

この予算は、市がチケットを購入して、無料で配付する、お渡しするということで、本会議のいろいろやり取りを聞いた中で、瑞穂陸上競技場が75席を10日間で750枚で、レインボーホールでボッチャをするということで20席が７日間で140枚ということで、全部で890枚を配付していくということでまずはいいですか。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　答弁願います。

若井課長。

○地域福祉課長（若井雅宏君）　委員のおっしゃるとおりです。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　林委員。

○林　ゆきひろ委員　それで、本会議で説明していた、まず障がい者団体への配付が、手をつなぐ育成会さんとスマイルクラブさんということで、大体百数十人いるということだったと思うんですけど、この団体が選ばれている理由は何なのでしょうか。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　答弁願います。

若井課長。

○地域福祉課長（若井雅宏君）　地域福祉課で、障がい者支援団体とのつながりとしまして、先ほどお伝えした手をつなぐ育成会さんとスマイルクラブさんと、障がいのあらゆる

場面で協力をいただいております団体になりますので、豊明市として支援していくというところでの設定で、この２つの団体に優先的に配付をするということで考え設計をしました。

以上です。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　林委員。

○林　ゆきひろ委員　この団体に加入されている方が百何十人ということなんですけど、実際市内で手帳を持っている方は3,000人以上いるかなと思うんですね。だから、恐らくその中でも一部の方がここに加入されている。例えば社会福祉協議会のボランティアセンターに登録している団体さんも、いろんな障がい者の方とか、そういった支援をされていると思うんですけど、そういった団体だったりとか、そういうのというのは検討はされていないんですか。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　若井課長。

○地域福祉課長（若井雅宏君）　検討はさせていただきました。今回、障がい者支援団体をまず優先的にというところで、先ほどお伝えしました２団体を優先的に配付すると。その後、議場でも御説明しましたとおり、スポーツ団体、スポーツ推進委員などのスポーツ団体に配付をすると。その中で、福祉団体、社会福祉協議会であったり、ほかの社会福祉法人をお持ちの福祉団体においてもお声がけさせていただこうかという想定をしておりますので、その中でそういったところにお声がかかるかなというふうに想定しております。

以上です。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　林委員。

○林　ゆきひろ委員　そういったボランティアで活動されている方も、市内のそういった障がいを持っている方に対してしっかり支援されている、そういったことで活動されている方だと思うんですね。先ほどの２団体はもちろんそうだと思うんですけども、ちょっと、なぜそこの２団体だけちょっと特別視、最優先といいますか、一番にされているのかというところがちょっと分かりにくかったので、もう少し、市の関係というか、近いから配付するんですか、ちょっとそのあたりが分かりにくかったので教えてください。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　答弁願います。

若井課長。

○地域福祉課長（若井雅宏君）　先ほどお伝えしたとおり、様々な場面で御協力をいただいている団体、障がい者の行事、クリスマス会であったりオリエンテーションだったりというところでの御協力をいただいている団体でありまして、障がい者、地域福祉課としましては、こちらの障がい者支援団体をまずは優先的にお配りをさせていただきたいと。

先ほど委員がおっしゃるほかの団体についても、ちょっと優先順位としてはこちらの団体のほうにまずはというところではありますけども、その後、お声かけをさせていただく予定もしておりますし、先ほど、障害者手帳をお持ちの方も、その後、先着順ではありますけども、一般配付をさせていただくということで、ちょっと限られた予算で限られた枚数の中でちょっと優先順位をつけさせていただきながら配付をしていこうというところで今回設計をさせていただきました。そういった想定で今後配付をしていこうというふうに考えてはいます。

以上です。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　ほかにございませんか。

林委員。

○林　ゆきひろ委員　先ほどは、障がいをお持ちの方で、先ほどの団体で百何十人の方がまず最初ということですけど、これ、例えば家族だったりとか、同行者の方とか、そういった、必要な方もいらっしゃると思いますし、そのあたりのところが同じように、申込みというか、配付してもらえるのか、それと、１人当たり何枚までというような上限があるのか、そのあたりはどういうふうに考えていますか。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　若井課長。

○地域福祉課長（若井雅宏君）　一応、今の現時点での想定としましては、配付の仕方としましては、団体のほうのお声がけの際には、枚数の制限まではする予定はしておりません。なので、御家族であったり、支援者の方に対して、一緒に行くというところであれば、お配りをさせていただこうと思っています。

その後、配付をしていく中で、残状況にもよりますけども、一般配付をさせていただく、障害者手帳をお持ちの方と、その後また障害者手帳をお持ちでない方に一般配付をしていく中では、お一人４枚までとか、そういう、ちょっと残状況によっては制限をかけていこうというふうに想定をしております。

以上です。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　ほかにございませんか。

林委員。

○林　ゆきひろ委員　そうすると、確認ですけども、この２団体に加入されている方は、知り合いだったりとか、家族だったりとか、複数人、たくさん枚数をもらえるということで、先ほどのボランティア団体はその後ということで、残りがどれぐらいになるかというところもあるんですけど、そういうふうな手続の流れで進んでいくということで合っていますか。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　答弁願います。

若井課長。

○地域福祉課長（若井雅宏君）　今の現時点ではそういった形で想定をして配付していこうというふうに思っています。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　ほかにございませんか。よろしいですか。

林委員。

○林　ゆきひろ委員　県の方がいらっしゃって、盛り上げてほしいというような説明があって、これ、他市町でもそういったのがあったということを聞いたんですけども、そういうふうで、要するに協力要請みたいなことがあったということですよね。そのときにまずどういう説明があったのかなというところなんですけども、なかなか、特にチケットの売行きがあまりよろしくないというようなこともちょっと聞いていて、特に瑞穂陸上競技場のほうがちょっとよろしくないというようなこともちょっと私は聞いているんですけども、そういったような説明もあったんでしょうか。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　答弁願います。

小串副市長。

○副市長（小串真美君）　いろんな場面で県からは盛り上げてほしいということでお話がありました。副知事さんも見えましたし、尾張県民事務所長さんとか、あと、市長が参加する市長会だとか私が行く副市長の会議等でも、そういった盛り上げてほしいということで、県を、全体を盛り上げて県全体で盛り上げていこうという雰囲気の中で、県からは様々な場面でそういったお話が来ております。

会場の大きさからいって、瑞穂陸上競技場は非常に大きいものですから、当初からやはり、そこがたくさん入るかどうかというのは当然考えておられたかなと思うんですけれども、直近の状態、７月末の一般販売のほうですと、瑞穂陸上競技場のほうは既に売り切れが出ておるような状況、競技の組合せの関係で発売がかなり後ろのほうにずれていたと思うんですけれども、発売した翌日にもはや在庫なしというような状況のところも出ておりますので、一定程度販売は進んでいるかなと思います。

ただ、今回自治体向けの無料招待枠というのが一定程度どうも用意されているようで、この辺もなかなか最新の情報が来ていなくてつかみ切れなかったところもあるんですけれども、どうもそういった枠はあるようですので、今回お願いする予算で恐らく確保はできるかなと思っていますけれども、ひょっとしたら想定しているところが買えない可能性もゼロではないものですから、そうしましたらほかの競技のほうも少し検討して対応していきたいなと思っておりますけれども、今の状況で、瑞穂陸上競技場のほうが決して売上げ

が思わしくないだとか、レインボーホールのほうが思わしくないということはなくて、既に在庫切れが出ているというような状況を伺っております。

終わります。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　林委員。

○林　ゆきひろ委員　今の説明ですと、瑞穂陸上競技場の、今、75席掛ける10日で750枚、これが全て買えるとは限らないということなんですよね、今の説明だと。先ほどの副市長の説明ですと無料招待枠というのも市としてあると。これがどれぐらいあるかというのは、豊明市はどれぐらい持っているかというのは分かっているんですか。そこは分からないんですか。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　小串副市長。

○副市長（小串真美君）　豊明市用というわけではないと思います。いろんな競技を運営する中で、自治体の方にも来ていただきたいということでそういう枠がどうやら用意されているということが最近分かって、私どもは当初は一般販売の中を我々で買いに行くと思っていましたので、今日お願いするのも当初は８月７日がチケッティング化の締めだったんですね、だから、今日予算をお願いしてすぐに申込みを入れないといけないという判断だったんですけども、それも二転三転して後ろのほうにちょっとずれていっていますので、結果的には日程的には余裕ができたんですけれども、ここで一定程度確保はしたいというふうには考えています。

無償招待枠というような名前で、県のほうから、アジパラの事務局のほうからは、そういった名目でどうも別の枠があるということが最近分かって、確保はできるだろうということで、今の想定ではお願いしている。先ほど10日間とおっしゃいましたけど、日程的には、例えば陸上のほうは、５日間の７こまというんですかね、１日に２つあるので、そういった形で確保はできるとは思っております。

終わります。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　林委員。

○林　ゆきひろ委員　ちょっと、そのあたりがちょっと非常に分かりにくいところですけども、これ、全部市費でチケットを購入することになっているんですけども、そういう、無料招待枠なんだけども市が負担するという、そういうふうになっているんですか。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　答弁願います。

塚本健康福祉部長。

○塚本健康福祉部長（塚本由佳君）　委員のおっしゃるとおり県費のほうはなくて、市が全額負担するということにはなっております。基本的に、先ほど議場でも市長がお答えさ

せていただいたんですが、強制ではなくあくまでもこちらが任意で買うという形になりますので、こちらのほうは県費や国費が当たるということはございません。

終わります。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　林委員。

○林　ゆきひろ委員　そういうふうだとしても､市費で払ってということになると本当に、県のそういう動員要請への協力という、そういうような印象がちょっと否めないんですけども、本会議でいろいろ、県のほうから豊明市の数字が示されていたというようなお話もちょっとあったような気がするんですけども、県として、豊明市にどれぐらい、確保してほしいというか、買ってほしいというような、そういう話があったというような説明があったような気がするんですけど､そういうのがあったのか､あったとしたらどれぐらいの、豊明は、割当てというか、そういうのがあったのかどうかって分かりますか。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　答弁願います。

小串副市長。

○副市長（小串真美君）　先ほど本会議場で市長がお答えしたと思うんですけれども、一定程度数字が示されて、それを上回る、例えば陸上競技だと75席というふうに決めたということですので、一定程度は示されております。

終わります。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　林委員。

○林　ゆきひろ委員　それがどれぐらいですか。豊明市は瑞穂陸上競技場だとどのぐらいの席ということで話があったんですか。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　小串副市長。

○副市長（小串真美君）　今回買わせていただくのは１こま当たり75席ですけれども、それを少し下回るような数字が示されておりました。

終わります。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　林委員。

○林　ゆきひろ委員　具体的な数字は言えないんですか。今、持っていないと。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　小串副市長。

○副市長（小串真美君）　具体的に数字を申し上げることは、資料があれば言えるんですけれども、どうやらチケットぴあのほうに委託されているようで、そこで一定のロジックの中で計算された数字がぱっと出ていましたので、毎日細かい違う数字が並んでいます。それを申し上げても今日のこの予算にはあまり影響しないと思うんですけれども、それを上回る形で市としてはこの競技を盛り上げていきたいということで75席という予算を今お

願いしております。

終わります。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　ほかにございませんか。

林委員。

○林　ゆきひろ委員　市が負担する料金というのが、参加者が、例えば障がいをお持ちの方だと、いろいろチケットの申込みのやつを見ると、いろいろ障がい者の料金だったりとか、あと子どもだと子どもの料金、あと、ハートフルチケットとか、そういったいろんな種類があるんですけど、それは、市が購入するチケットもそういう方だとそういうふうだというので対応はされるんですか。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　答弁願います。

若井課長。

○地域福祉課長（若井雅宏君）　今回補正予算で計上させていただいている金額としましては、そういったチケットではなく一般席の金額での想定です。今後一般配付ということでさせていただく予定をしておりますので、全体的に一般席での購入ということで想定をしております。

以上です。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　林委員。

○林　ゆきひろ委員　そうだとすると､そういった障がいをお持ちとか子どもであっても、大人の普通の料金でと、市が負担する料金はね、ということでなるのかなというふうに聞きましたけど、あと、席が一般席ということなんですが、本会議でもＡ席とかＢ席とかいうような説明がありましたけど、これ、障がいをお持ちの方、車椅子の方とか、あと肢体不自由、このスマイルクラブさんって肢体不自由の方の会だと思うんですけど、そういう方というのは観戦できる席なんでしょうか。

（発言する者あり）

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　答弁願います。

（発言する者あり）

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　第２委員会室は静かにお願いします。

（発言する者あり）

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　ただいま市長から申出がありましたので、市長の出席についてお諮りいたします。市長が出席することで御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　市長、御入室をお願いします。

（発言する者あり）

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　市長、出席をお願いします。

（市長入室をなす）

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　では、答弁をお願いします。

小浮市長。

○市長（小浮正典君）　ちょっと質疑を聞いておりましたけども、Ｃ席にしか、基本的には、全競技、ハートフル席だとか車椅子席は設定されていなくて、見やすい席じゃないんですね、はっきり言って、Ｃ席は。Ａ席とＢ席のいずれか、要するに私たちは見やすい席で設定しようとしています。Ａ席とＢ席は、当然ながら車椅子の方々が見られるスペースは設けられています。Ｃ席だけが断トツに安くて、子ども席もＣ席にしか用意されていない。Ｃ席は非常に見にくいんですね。ここで用意されたところで、特に子どもたちからすると、大人がかぶる非常に見にくい席で用意されても困るので、そういったことから、皆さんが見やすいＡ席またはＢ席、要するに一番最前列に近い席で自分たちは確保しようとしている、それが１つ。

それから、質疑の中で、障がい者支援団体２団体を優先的にというところで、ほかのボランティア団体となぜ違うのかというお話でしたけども、この２団体が、それぞれがいろんな立場で、ボッチャもそうですし、いろんな、フライングディスクというのも推進をしてもらっているんですけども、この２団体がそれぞれ、スマイルクラブがボッチャ、それから、手をつなぐ育成会がフライングディスクをずっと推進してきた団体なので、我々としては、その実績もあるのでこの２団体がこれからも障がい者スポーツを推進してくる団体だというふうに自分たちも期待しているし、これまでの実績も圧倒的にその２団体が抜けた状態でずっと実績を積んできていただいているので、この２団体にまずは行っていただくということを考えた、そういったことでございます。

以上。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　ほかにございませんか。

林委員。

○林　ゆきひろ委員　今のそれで１点だけちょっと分からなかったのが、結局車椅子の方とか肢体不自由の方が、Ｃ席だとちょっと見にくいということなんですけど、Ａ席、Ｂ席は入れるんですか。見れる状況になっているんですか。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　小浮市長。

○市長（小浮正典君）　見られる状態になっています。ただ、これは、Ａ席とＢ席がそれぞれ、パラは特に全部自由席になっているのは、そういった理屈もあって全部が自由席に

なっているというふうに聞いております。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　ほかにございませんか。

林委員。

○林　ゆきひろ委員　今回のチケット配付ということなんですけども、まず、本会議でもいろいろ説明はあったと思うんですけども、市のどういう政策に合致しているのか、そして、そのための工夫というのは考えられていますか。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　答弁願います。

小浮市長。

○市長（小浮正典君）　これも本会議場で説明したとおり、もう圧倒的に高いのは、障がい者スポーツを推進して、障がい者の方々も健常者の方々同様にスポーツを楽しめる機会を市として設けていきたい、それを推進をしていきたい、大きなきっかけになるだろうと。これまでも指導されてきた方々に、こういった、本当の世界的なレベルの大会を体感いただいて、さらに、自分たちが今やっていることをさらに見直して、さらに推進をしていただく、そういった見直す機会にもしていただきたいというのが１つ。

それから、実際に障害者手帳をお持ちの障がい者の方々に、ほかの障がい者の方々がいろんなスポーツを、いろんな訓練をされて世界的なレベルまで自分のレベルを上げてこられた、そういったことを見られることによって、スポーツだけではなくて、障がい者の方々が自分たちの次のステップとして進めるような、そういったすばらしい機会になると考えております。

基本的には障がい者の方々のノーマライゼーションを中心とした施策として考えております。

以上、終わります。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　林委員。

○林　ゆきひろ委員　そこまでの、そういう思いとか考えがあるのであれば、なぜこれは当初予算の段階で組まなかったんでしょうか。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　小浮市長。

○市長（小浮正典君）　これも先ほど小串副市長からありましたけども、チケットの売行きというのは全く分からなくて、チケットというのは非常に、今回の場合には、アジア大会、アジア競技大会もアジアパラ競技大会も非常に細かく何段階にも分けて販売してきています。そういったことの推移が分からないので、どれぐらいで売れるのか、どれぐらいで売れないのか、そういったことも分からない状態で、愛知県から示された数字も、６月の中旬ぐらいの段階で、大きく言うと２つ、アジア競技大会もアジアパラ競技大会も大き

な競技場のところ、それから、さらにアジアパラ競技大会については、瑞穂陸上競技場とＩＧアリーナの競技場、この２つがキャパシティーとして非常に大きいので、そこをぜひとも機会として、チケットが、今、その段階としては一定程度残席が出るだろうという見込みの下、それぞれの自治体の判断の下、あくまで自治体の判断の下、自分たちの事業として推進できるところがあれば協力してほしいというような要請が知事からあったという状態でございます。

結果としては、アジアパラ競技大会のほうも、それぞれの日程だとか競技の種類だとか、やっぱり、土曜日、日曜日がやっぱり売れやすいんですね、そういった状況でそれぞれの日程でちょっと違いは生じていますけども、チケットそのものは非常にどんどんどんどん販売としては進んでいっている状態に今現在はあります。

以上、終わります。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　ほかにございませんか。

林委員。

○林　ゆきひろ委員　そういうふうだとしても、市が、競技をさらによりよくしたいとか、そういう政策の思いがあるのであれば、当初予算でも組めたのではないかなというふうに思うんですけども、実際に配付された方が観戦に行ったのかどうかとか、そういったことというのは確認はできるようになっているんですか。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　小浮市長。

○市長（小浮正典君）　何度も申し上げますけれども、一般の方々が行く機会を非常に多くの部分で自治体が奪うということも望ましくないですから、愛知県としても、県の教育委員会から市の教育委員会、市町村の教育委員会を通じて、学校ごとに行く希望があるかどうかを先に調査して、そこは先に枠として取って、一般のチケット販売に順番に段階としてやっていっている。その一般のチケット販売の売行きが、どういったぐらいの形で売行きが進んでいくのかは誰も分からない、正直言って。誰も分からないが、思ったよりも売れていっている、そういった状態が今の状態でございます。

それから、最終的にチケットを、行った行かないというのは、それはお渡しした相手の方に確認して、これは非常に大切なチケットなので行ってくださいねと、行けなくなったら連絡してくださいねとお渡しするしかないです。その人たちのことをちゃんと信用した状態でやっていく、もうそれ以外にやる必要はないというふうに考えております。

以上、終わります。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　林委員。

○林　ゆきひろ委員　やる必要はないというふうにおっしゃっていましたけど、例えば参

加者の方にアンケートを取るとか、団体から参加の報告をもらうとか、そういったことというのは考えていないんですか。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　小浮市長。

○市長（小浮正典君）　例えば、それぞれ、スポーツ推進委員、それからスポーツ協会、それから手をつなぐ育成会、それからスマイルクラブ、それぞれ実は総会があって、総会のところには、私か教育長、あるいは担当の部長、それぞれが出る状態の会議体です。そういったことで､その総会では前年度の事業報告については当たり前にされていますので、しかも詳細にされますので、それぞれの団体が、その中で、当然ながら当たり前に議論は行われる状態になります。

以上、終わります。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　ほかにございませんか。

林委員。

○林　ゆきひろ委員　総会とかそういったところで議論が行われるというふうにおっしゃっていますけど、行われないかもしれないですし、そういった行った方に関して、ちゃんと行ったのかどうかだったりとか、そこでそういった市の政策につながるようなことがあるのかどうかというのは､記録として出したほうがいいのではないかなと思うんですけど。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　小浮市長。

○市長（小浮正典君）　私、ほとんどが毎年出ている状態、例えば障がい者団体２団体については、私、十何年間か、11年間か、連続して出ていますけども、非常に詳細に報告されます、２団体とも。当然ながら当たり前にされますけども、私も出席しておりますので、あれの事業についてはどんな状態でしたかということは報告しますし、また、それぞれの４団体とも非常に、ある意味生真面目に運営されている団体なので、自分たちが求める以前に報告されると思いますし、報告がなかったら我々が確認する必要はあると思いますけども、当たり前に報告がされるというふうに私たちとしては思っておりますし、仮にネガティブな林委員のような発想の方がいらっしゃるというのは信じられませんけれども、そういったことが起きたとしても我々が確認する状態にはなると思います。

以上、終わります。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　発言には御注意ください。

林委員。

○林　ゆきひろ委員　非常に失礼な言い方だと思いますけど、市長、配付した方が、例えば行かなかった場合に、市のほうに返却されるというようなことがたしか本会議で説明があったと思うんですけど、返却された後はどういうふうになるんですか。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　小浮市長。

○市長（小浮正典君）　最終的には一般の市民の方々に先着順でお配りする状態になるので、そのチケットがずっと推移した状態でまだ残数はあるのか、一旦、その種目、日程について、なくなりましたということであれば、それはホームページで随時告知していくという体制だというふうに、市の広報の中で告知しますので、ホームページの中で告知し、これだけの残数がありますので、御希望の方は何とか課にいらっしゃってくださいという形で連絡する形になるというふうに思います。

以上、終わります。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　林委員。

○林　ゆきひろ委員　最終的に一般の方を募集するということですけども、最終的に一般の方で募集した方がやっぱり行かなかったってなって返却されてももう日が近くてなかなかということもあると思うんですけど、その場合はどうされるのか、そして、それもやっぱり市の負担になる、これは、県のほうに返却とか払戻しとか、そういったことはできないというふうでよかったですか。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　小浮市長。

○市長（小浮正典君）　当たり前にそれはできません。基本的にはいろんな関係団体があるので、最終的な本当に日数が迫ったところで残ったチケットについては、いろんな関係団体で、行ける人はいますかという形で、例えば社会福祉協議会の職員だとか、そういったところにお声がけして、チケットが無駄にならないようにしたいというふうに考えております。

以上、終わります。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　ほかにございませんか。

林委員。

○林　ゆきひろ委員　もう一般席に関しては、一般に募集をされていて、チケットを購入された方もいると思いますし、いるということを聞いています。先ほど、そういった方で無料で配付しても行かなかった場合は、やっぱり市が負担といいますか、返却できない、払い戻しできないような状況だと考えると、例えば実際に観戦に行った方にそのチケット分の料金を補助するということもできるんじゃないかなと思うんですけども、そういうふうにされずに一括でチケットを買うというふうにしているのはなぜなんですか。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　答弁願います。

（補助する、行った人に対してチケットの料金を補助するということも全然考えられると思うんですけどの声あり）

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　塚本健康福祉部長。

○塚本健康福祉部長（塚本由佳君）　今のところ、チケット代を補助するというスキームではなくて、市のほうでチケットを確保して、そちらで観戦に御参加いただきたいということですので、買う方につきましては、競技も日程も御自由に選んでいただけますし、席もいろんな席がございますので、そちらのほうを選んでいただくということも可能だと思っております。

今回は市のほうが障がい者スポーツの推進ということでパラ競技に限定させていただいておりますし、競技も自由に選んでいただけるというものではございません。こちらの施策で思った競技をこちらのほうで、無償だからこれをきっかけに行っていただいて観戦していただきたいという思いがございますので、補助するという考えはございません。

終わります。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　ほかにございませんか。

林委員。

○林　ゆきひろ委員　本会議でも少しあったと思いますけども、これ、一般で募集したときの、買った方の転売される防止だったりとか、そういった策というのは考えられているんですか。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　塚本部長。

○塚本健康福祉部長（塚本由佳君）　転売のほうは、先ほど本会議の質疑でも回答させていただいておりますが、チケットのほうは県がお示ししたスキームでお渡しをさせていただくということにしております。二次元コードをそのまま読み取っていただくような形のものを紙でお渡しして、その後はチケットをもらわれた方が管理していただくというスキームにはなります。もちろん転売防止とかも、こちらも危惧をしておりますので、お渡しする際に注意喚起をしてまいりたいと考えております。

終わります。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　ほかにございませんか。

中堀委員。

○中堀りゅういち委員　146万7,000円、これ、全てチケット代というふうにお聞きしたんですけれども、ＱＲコードのデジタルでお手元に届いてコピーしてお渡しということですが、事務経費か何かというのは本当に細微な部分なので上がっていないという認識でよろしいですか。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　若井課長。

○地域福祉課長（若井雅宏君）　事務経費については細微なので上げておりません。基本

的にはチケットをお渡しする郵送費とかはないものですから、手渡しをするという形で想定をしております。

以上です。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　ほかにございませんか。よろしいですか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手を願います。

林委員。

○林　ゆきひろ委員　補正予算ですけど反対したいと思います。

市として、政策目的である、そういった障がい者スポーツの推進だったりとか、共生社会の実現を目指して取り組むということは賛同しております。やっぱりこういった機会って非常に珍しい機会というかなかなかない機会ですので、いろんな方がその価値に触れるということは非常に意義のあることだというふうには理解をしております。

しかし、そういった考えがあるのであれば、まずはやはり当初予算に私は入れるべきだというふうに思います。県からのそういった協力要請があって購入するというふうになるとやはり、どう考えても県の動員要請に協力するために税金を投じるという形になって、政策目的というのは非常に後づけのようになってしまいます。先ほども、そういったことが実現させていきたいということであれば、そういった、参加者の方にいろいろアンケートを取ったりだとか、団体の報告を求めたりとか、かなりたくさんの方がね、890人、ありますので、そういった方がいますので、それがちゃんと有意義に使われたのかどうかというのはやはり、市として、行政としてしっかり確認すべきことだというふうに思います。

また、こういったことが計画的に行われていないために、一般市民への募集というのはかなり開催の直前となって、自費でチケットを購入された方からすると、やはり後から市が無料で配付というのは公平性を損なわれることにもなりかねないと思います。

先ほどの、申し上げましたけども、そういった中で、車椅子席もありますし、そういったことにも対応できるように、観戦に行った方に対して補助するというほうが、公平性が保たれて、政策目的とも合致するというふうに思いますので、そういったことが考えられていない、やはり、市として、市民の大切な税金の使い道、それを、政策目的の達成と公平性の観点からしっかり考えていただきたいということを申し上げて反対したいと思います。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　ほかにございませんか。

岡島委員。

○岡島ゆみこ委員　賛成の立場で討論いたします。

障がいのある方々へ提供するための事業ということもあり、県から大会を盛り上げていくという協力要請、本市としても障がい者スポーツの推進や共生社会の実現につながる取組として捉えました。

観戦競技の１つであるボッチャについては、これまで約７年間普及に取り組んできた競技であるということと、障がいがある方とない方も楽しめるというスポーツとして地域に広がっていく世界レベルの競技を直接観戦する機会はこれからなかなかないということでもあり、スポーツ活動への意欲につながるものとして捉えました。社会づくりの理解を深める貴重な機会ともなると思います。

ただ限られたチケットを有効に活用できるように配慮していただくことだけをお願いして賛成といたします。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　ほかにございませんか。

中堀委員。

○中堀りゅういち委員　賛成で討論させていただきます。

まず、ほぼもう岡島委員の言うとおりで、障がい者スポーツ推進、しっかりと、これ、寄与されているなというところがあって、１つ、私、付け加えたいことがあって、当初予算とかでなぜ組まれなかったかというのと、貴重な税金が全然このパターンで使われるのは違うんじゃないかというのがあったもんで、ちょっと一言付け加えたいなと思うんですけど、まず、当初からずっと言っているチケットの推移が本当に乱高下する、上下する、そして、いっぱい売れれば、やっぱりまずは、第一の優先順位は一般市民の方なので、この方たちが買って、仮に余ったときとかというのは、今すぐ分からないんですよ、やっぱり。その状態になってみないと。そういった中で、今、分かった状態の県からの要請が来ておるものですから、そこで手を伸ばす、本当に一生あるかないかの愛知県での競技に対して、しっかりとその部分に助けの手を差し伸べたということで私は受け止めておりますので、しっかりと生きた税金でこの協力要請に寄与されているのではないかと思い賛成といたします。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　ほかに。

鵜飼副委員長。

○鵜飼貞雄委員　議案第54号について賛成の立場で討論いたします。

私もこの２つの障がい者団体に、いろいろな場面で接触というかお付き合いさせていただくこともあるんですね。やはり、非常に、障がいを持ってみえる方々の社会的な立場をよくしていこうとか、あと、そういったお子さんたちを持っている保護者の方々が非常に

前向きに、すごく純粋な心でいろんなイベントに取り組まれている、それを何度か目にさせていただきました。なので、ちょっと汚いような考えをするような方々はその中にはいないなと私は本当に思いながらいつも頭が下がる気持ちでおります。

今回、障がい者スポーツの推進もさることながら、先ほど市長がおっしゃられた障がい者の方のノーマライゼーション、やはり今でも、昔に比べると随分生きやすくなったとは思うんですけど、それでもまだ障がいをお持ちの方というのが、普通の健常者の方と比べて少し気を遣いながら生きている、そういった方々が本当の健常者と一緒に生きていけるような世の中をつくっていくために、それの一歩なのかなというふうにも思います。

そもそもをいえばこの146万7,000円というのは非常に高い金額でもないと思いますし、これで皆さんも、障がい者の方だけではなくて取り巻く市民の方々もそういった同じような方向に向いていただければ非常に価値がある施策かなというふうに思いますので、そういった思いを込めて賛成といたします。

以上です。

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　以上で討論を終結し、採決に入ります。

議案第54号については原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　賛成多数であります。よって、議案第54号については賛成多数により、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、本委員会に付託されました案件の審査は終了いたしました。

お諮りいたします。委員会報告書については私に一任願えますか。

（異議なしの声あり）

○健康福祉委員長（清水義昭議員）　ありがとうございます。

委員会報告書については、例に従い提出をさせていただきます。

慎重な御審査、御苦労さまでした。これにて健康福祉委員会を閉会いたします。

午前１１時１６分閉会

豊明市議会委員会条例第29条の規定によりここに署名する。

健康福祉委員会

委員長